

令和 7 年度 市民公開講座 開催要領

1 背景・目的

地域で生活する高齢者の多くは、医療や介護のニーズが複雑化・多様化している。特に、高齢単身世帯、高齢夫婦のみの世帯、認知症高齢者が増える中、医療と介護が必要な状態の高齢者が、住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らし続けるためには、医療・介護・福祉の支援が連携して提供されることが不可欠である。しかし実際には、制度やサービスが複雑で関係機関も多岐にわたるため、初めてその支援を受けようとする市民にとっては、仕組みや手続きが複雑に感じられることも少なくない。また、相談窓口や関係機関の認識不足、情報の分散、説明や連携の不十分さも課題となり、必要な支援にたどり着けないケースも見受けられる。さらに、療養の質を高めるためには、本人の意思や価値観に基づく医療やケアの方針を事前に話し合い共有する、人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）が重要であるが、人生会議の存在や進め方についての理解も十分ではない。

そこで本講座では、実際に市民が直面しやすい事例を通じて、相談窓口や関係機関の役割を知り、医療と介護の連携の実際や相談・支援を受けるまでのプロセスを具体的に学ぶことで、必要な支援やサービスにつながれる地域づくりと、専門職だけでなく、市民がこれからについて考え、連携の担い手として共に支え合う地域づくりを目指す。

2 テーマ

地域の応援団をご紹介～相談先がわからないあなたへ～

3 目標

- (1) 在宅医療・介護に関わる主要な相談窓口や関係機関の役割・機能を理解できる。
- (2) 自分や家族に必要な支援を、どこに相談すればよいか理解できる。
- (3) 人生会議とは何かを理解し、自分や家族の「これから」について考えることができる。

4 日時

令和 7 年 2 月 14：00～15：30（13：00 開場）

5 開催方式

参集型

6 場所

呉市生涯学習センター 音楽ホール 呉市中央 6 丁目 2 番 9 号（つばき会館 4 階）

7 対象（定員）＊事前申込制、先着順＊

テーマに関心のある呉市民 160 名

8 内容

- (1) 寸劇「医療と介護の迷子～どこに聞けばいいの？～」

実際によくある市民の困りごとや迷い、人生会議の場면을寸劇で再現し、課題をわかりやすく可視化する。

- ・場面 1：病院から在宅へ（退院支援、地域医療連携室、関係職種）
- ・場面 2：市役所の窓口で（介護保険サービス、地域包括支援センター、関係職種）
- ・場面 3：人生会議

- (2) 解説講話

寸劇の場面ごとに内容を振り返りながら、相談窓口や関係機関、地域の多職種の役割、制度の概要・仕組みなどを解説する。

9 周知方法

- (1) 呉市ホームページ
- (2) 呉市政だより 2月号(1/10 発行)
- (3) しとってクレ「お知らせ」に掲載(市民サイト, 関係者サイト)
- (4) 呉市見守りネットワーク事業協定締結事業者からの配布
- (5) 居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターから利用者及び家族への配布
- (6) 医療機関(医科・歯科・薬科)にチラシ配置
- (7) 介護サービス事業所(包括・居宅介護支援事業所)にチラシ配置
- (8) 市民センター・まちづくりセンターにチラシ配置

10 申込方法

WEB, FAX, 電話のいずれか

11 評価方法

参加者アンケートにて目標の到達度及び講座の効果や満足度等を確認する。

12 参加費

無料

13 共催・後援

共催依頼 呉市医師会

後援依頼 安芸地区医師会, 呉市歯科医師会, 安芸歯科医師会, 呉市薬剤師会, 広島県訪問看護ステーション協議会, 地域リハビリテーション広域支援センター(呉圏域), 広島県医療ソーシャルワーカー協会, 広島県栄養士会, 呉市介護支援専門員連絡協議会, 呉市社会福祉施設連絡協議会, 広島県訪問介護事業連絡協議会(広島南ブロック), 呉市社会福祉協議会, 呉市老人クラブ連合会